

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 1-1	地域で大切にしている子育て環境			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	減っていく子供に合わせて縮小する合理化ばかり進めて、充実しているとは思えない。具体的な施策として、ファミリーサポートを即日簡易に利用できるような仕組みを見直すことや、保育所や学童の預かり時間の拡大、そのための職員採用の要件緩和(保育士免許なし・子育て経験者、福祉大学などの学生アルバイト補助員など)を図る。主要産業である観光産業や農業、漁業(共働き)は土日祝が繁忙期であるため、土日預かりができる外部団体への委託や募集をすること。小学校高学年の子どもが両親の帰宅まで過ごせる場所の整備。	健康子育て室	放課後児童健全育成事業	ファミリー・サポート・センターは事業が始まったばかりで、登録会員数が少なく、依頼の件数も少ないのが現状です。即日、利用できるようになるには、援助会員等の常駐が必要になると思いますが、現状では対応ができていません。いろいろな機会においてファミリー・サポート・センター利用についてのPRをしていきます。援助会員等の常駐は難しいと思いますが、できる限りマッチング等を早くできるように対応をしていきたいと考えています。保育士の資格がなくても、補助でつくことはできるため、今後は検討していきます。今年度、放課後児童クラブの支援員補助については、学生の補助員採用を行いました。夏休み等の長期休業期間における土曜日の利用について現状はほとんどありません。ニーズがあれば、土日祝日の児童クラブの開所についても検討してまいります。小学校高学年の子どもが過ごせる場所の整備には、場所の確保、運営の方法、人の確保等協議が必要となります。現状では、児童クラブの定員に余裕があれば、そちらを利用していただきたいと考えています。
2	少子化は必然なためどうすることもできないのでそこばかりにスポットを当てるのは一旦やめる。必ずしも子育てに特化せず町民みんなが安心して楽しく過ごせるような環境整備を目指す。木を見て森を見ずをやらない。	企画財政課		重点政策として、①子育て支援と教育の充実、②産業の活性化と雇用の確保、③定住支援をあげています。子育て支援の重要性も認識しておりますが、その他、産業や雇用、定住等への支援についても目を向けて事業を実施しています。
3	実際に娘が第二子を里帰り出産をする時に、年子の第一子0歳児を保育所に預けたかったが、内海保育所には枠がなく預けられなかった。目指す将来像に、「子育てと仕事が両立できるまち、0歳児から3歳児の自宅子育て支援金」とあるが、矛盾していると思う。そうならば、0歳児の受け入れ枠を増やす方が先のように思う。	健康子育て室		利用のご希望の際に入所のご案内ができなかったことは大変申し訳ありませんでした。0歳児の受け入れに数については、利用数の見込み、保育士の確保、施設の広さ等を考え、決定しておりますが、今後は、0、1歳児の保育ニーズに対応できるよう検討してまいります。
4	政府が子供家庭庁を発足させたけど、お金をばら撒くだけでは解決は難しく、大切なものはお金は最小限にして地域が年寄りから子供まで集まる機会を増やしていくのいいと思います。	学校教育課		令和5年度に開校した南知多中学校において、コミュニティスクール(学校運営協議会)を設置し、学校と地域が協力し合い学校運営を進めていきます。地域交流についても可能な限り計画していきたいと思っています。
5	基本施策1-1～1-2で提案。本町の最大課題は、人口増である。その点から子育て、小中学校の教育環境である。この1～2年小中学校の再編が協議されてきた。今後の環境変化や問題点を検討していくことが必要である。現在、公共施設の再配置が議論されているが、将来的には保育園も対象となり問題となる、「安心して子供を育てられる南知多」のPRキャンペーンが必要。	企画財政課		保育所再配置計画において将来の統合も明示されています。南知多町ならではの安心して預けられるPRも検討が必要です。
6	基本施策1-1～1-2で提案。地域ごとに小中一貫校を作り先進教育を。	学校教育課		教育委員会では、小学校は、5地区に各1校、中学校は、町内に1校を基本的な方針としています。
7	町内出生率が10年程で著しく低下している。町内はもちろん、若い世代の町外からの移住者を増やすことが必要であり、住む家、仕事斡旋などトータル的にフォローできる取り組みが必要であると感じる。	成長戦略室 産業振興課	農業振興対策事業費 空家等対策事業費	仕事のあっせんはしていませんが、就農希望者に対しては、関連団体や農業委員等と協力し、農地の貸借を成立させています。また、就農準備資金等の国・県の制度を利用できるよう支援しています。移住には住居の確保が必須であるため、本町では空き家バンクにて住居の確保を支援しております。しかし、本町の空き家バンクについては、成約率が高く、ホームページに掲載した物件がすぐに制約してしまうため、慢性的に物件が不足しています。そのため、今後も空き家バンクへの物件登録を増加できるよう、引き続き空き家所有者への情報発信を実施してまいります。

8	<p>昨年の意識調査の役場からの回答で「出生数の減少は出産世代の若者や世帯の転出が原因」とあったが、転入を増やすための施策をお願いしたい。子どもをこれから持とう、または子どもを持ったばかりの若年夫婦がUターンして親の近くに家を建てようとして検討した場合、ネックになるのは、働きながら子どもを預けやすいか、仕事がある半田や東海市知多市大府市、名古屋まで通える環境が整っているかどうか。だが南知多では朝に子どもを預ける開始時間は知多半島内の市町村と比較しても遅く、閉所時間は早い。これでは半田以北の職場には間に合わない。知多半島に仕事を持っていても、住む場所の候補に南知多を選んでももらえない。今はオンラインで仕事もできるため、都会に住まなくても仕事ができる人が増えており、そういった層の獲得も総合計画に書いてあるが、在宅勤務では保育園や学童に預けられない。目的と実際の計画に整合性がないのではないかと。そもそも、子育て世帯が何を求めているのかニーズを聞いてほしい。ニーズを把握しないままでは、出生数減少の対策が適切かどうかを審議できない。子育て世帯のニーズを把握するためのアンケートというところ、遡ると「第二期子ども・子育て支援事業計画(R2～R6)」の策定時のアンケートがある。このアンケートでは、仕事と子育てが両立できるように支援の充実を求める声が高かった結果が出ている。預け先の数や定員数、預け時間、預けやすさの拡大が求められる結果であったが、この「第二期子ども・子育て支援事業計画(R2～R6)」はどう進めてきたのか。計画とその実行性は毎年見直されているのか。(そもそも、この「第二期子ども・子育て支援事業計画」自体が南知多のホームページを探しても見つけられない。) 支援の物理量が少ないために、働きたい預けたいのに諦めている家庭が周りに複数いる。子育てする親にとっては仕事を辞めたり変えたりせねばならない切実な問題であることをおわかりいただきたい。支援の物理量を増やすのが無理だとしても、どうしたら今の物理量・または減らした物理量で親たちが支援を受けられるのか、保護者のニーズを聞いて工夫できる余地は無いかを、保護者と町が一体となって考える場が欲しい。</p>	健康子育て室		<p>第2期子ども・子育て支援事業計画については、中間年にあたる令和4年度に「子どもの人口の見込み」「ファミリー・サポート・センター事業」等の見直しを行いました。第3期子ども・子育て支援事業計画の策定に向けて、令和5年度にニーズ把握のためのアンケートを実施し、検討をしていきます。小学生以下のお子さんをお持ちの方を対象としてアンケートを実施します。令和6年度には計画の策定を行います。</p>
9	<p>祖父母に頼れる家庭や専業主婦層だけが南知多で子育てできる状況を強化しては、転入者増や共働き世帯の獲得は難しいし、これから活躍したい若い女性は益々南知多を選ばなくなってしまう。おうち子育て応援金など専業主婦層を大切にすることはもちろん大切であるが、女性が活躍できる環境整備も同時に行ってほしい。若年女性の減少による少母化が問題の本質であり、子育て環境整備よりも、仕事や収入の安定を求める声が増加している昨今では、子育て支援をしても人口減少は食い止められない。それでも子育て環境の整備や働く女性支援は必要がある。「女性たちに意欲が無い」ではなく「女性たちが意欲的に働ける環境を用意できていない」「若者たちが意欲を下方修正せざるを得ない環境である」と認識しなければいけないと思う。若者たちが活躍できる環境、働き続けられるよう、多様な働き方を支えるための支援を用意することが急務と考える。</p>	産業振興課		<p>本町において、若者や女性が活躍し続けられる環境の整備は必要の一つと感じておりますが、現時点では本町からの直接的な支援はありません。町だけでは女性や若者の働き方等に関するニーズを把握することは難しいため、商工会や地元事業者とも連携し、支援施策を検討していきます。</p>
10	<p>人口減少、出生数減少に併せて行政サービスはおのずとサイズダウンしコストカットせねばならず、町の取り組みは評価できる。その中で、子育て支援金や18歳までの医療費助成など、南知多は頑張っていたらと思うし、保育園は保育士の配置にゆとりがあり目の行き届く質の高い保育をいただいていると思う。こうした南知多の良い部分を外に向けてアピールしていくことも必要ではないかと思う。</p>	健康子育て室		<p>子育て支援ガイドブックを作成し、ホームページでも見ることができるようになっています。子育てに関する支援やサービスについて、1冊にまとめてありますので、ぜひ利用してください。子育て支援に関する情報をホームページや住民情報メール配信、Twitterなどでの発信に努めていきます。</p>

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 1-2	次代の担い手を育む教育環境		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	環境学習など子どもたちに提供したいが、子育て真っ最中で子育て環境に余裕がなく、行う事が困難である。また、無償のマンパワーには質のバラつきもあり、内容の正誤も精査できないため、ボランティアなどに頼って予算を抑えることにはリスクがあると思う。しっかりと予算をかけて質の高い教育支援をこの町の子供たちに提供していただきたい。	学校教育課 環境課	南知多町では、育てたい児童生徒像を「郷土に誇りを持ち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒」とし、それが実現できる教育環境を整えていきます。郷土に誇りをもつことは環境面にも着目することにもなるため、教育委員会として「SDGs」等の環境学習は重要なことであると考えています。環境学習の一環として、自然に親しみ、自然を観察し、身近な自然の大切さを考える自然観察会を開催しております。親子で楽しめる観察会となっております。
2	子供たちの学力維持に大いに不安があります。今や都市部の塾に通わなくてもネットを活用して家庭でも高度な教育環境が整えられますが、それについて理解のある教育者、また最新の家庭学習の方法をコーチングできる先生方はいらっしゃいますでしょうか？SNSや検索エンジン(さらに言えば対話型AIも)を活用すれば先生に質問するより早く疑問を解消することが出来る。絵画一つとっても先生の評価のコメントを待つより早く世界中から様々な評価を得ることが出来ます。しかしそれにはやはりある程度のネットリテラシーが必要です。先生方には従来の常識やプライドに囚われず子供たちにどんどんそういった情報を与えて欲しい。漁業など家業を継ぐ子供たちを否定する訳ではありませんが、その地域に子供を縛り付けることなく広い世界で学ばせ、その経験をもってして地域を発展させていってくれる人材を育てることこそ急務だと思います。	学校教育課	教育振興一般管理費 学校では、1人1台タブレット端末を整備し、毎日の授業を中心に活用しています。今後、本格的なタブレット端末の家庭での持ち帰り学習を想定し、令和4年度にAIドリルを導入しました。個々の学習進度に合わせた出題や振り返りが可能となり、教員についても一目で進捗が把握でき、個別の指導がしやすい環境を整えています。子どもたちへは、タブレットの正しい使用方法等、適切に指導しています。また、学校ではタブレット端末の導入により、ネット検索での調べ学習を日常的に活用しており、新しい知識を身に付けることで、様々な経験を得られる機会を設けています。
3	予算事業で、小学校の備品設備などの適切な管理とあるが、修理するのが遅すぎる。実際に、内海小内学童保育で使用している南側の窓にヒビが入り、とても危ない状態でガムテープで修繕していたが、健康子育て室の対応が全く遅く半年以上もほったらかし状態。その理由として支払いがどこになるかで遅くなったと言うが、防犯上と割れて子供が怪我したら危険なのに、論外です。予算云々も良いが、役場内の組織ももっとしっかりしていただきたい！現場のことを全くわかっていなくて、デスクの上で考えていてもダメだと思います。	学校教育課 健康子育て室	小学校一般管理費 学校の施設管理において、ガラスの破損等は危険であり緊急性のあるものについては、学校への配当予算にて早急に対応しております。大規模な修繕等については、事前に学校から危険箇所を洗い出してもらい、予算要望により翌年度以降に実施する場合があります。
4	子供たちの教育は全体主義ではなく個人個人に合った教育得意な分野を大きく伸ばすことにも力を入れたらどうか。地元就職しやすいように職場体験をもっと広げてはどうかと思う。	学校教育課	教育振興一般管理費 各中学校では、キャリアスクールプロジェクト事業として、中学校3年間での系統的なキャリア教育を通して、自分の将来や生き方について考えることで自立の基盤となる力の育成を行っています。中学生2年生の夏休み期間において「職場体験学習」を行い、地域の企業等で活動します。その経験が、地域で暮らし働くきっかけとなり、将来の南知多を担う人材となるよう支援します。
5	基本施策1-1~1-2で提案。本町の最大課題は、人口増である。その点から子育て、小中学校の教育環境である。この1~2年小中学校の再編が協議されてきた。今後の環境変化や問題点を検討していくことが必要である。現在、公共施設の再配置が議論されているが、将来的には保育園も対象となり問題となる、「安心して子供を育てられる南知多」のPRキャンペーンが必要。	企画財政課	保育所再配置計画において将来の統合も明示されています。南知多町ならではの安心して預けられるPRも検討します。
6	小規模大規模メリットデメリットがあるので永遠に答えがでない。小規模ならではのメリットを発揮する。のびのび自由に学べるよう選択できる教育環境。	学校教育課	南知多町では、育てたい児童生徒像を「郷土に誇りを持ち、心豊かに自ら学び、心身ともに健康でたくましい児童生徒」とし、それが実現できる教育環境を整えていきます。
7	基本施策1-1~1-2で提案。地域ごとに小中一貫校を。	学校教育課	教育委員会では、小学校は、5地区に各1校、中学校は、町内に1校を基本的な方針としています。
8	学校統合が進むほど、子供たちは地域から離れていく。地域に1校の小学校は必要である。	学校教育課	教育委員会では、小学校は、5地区に各1校、中学校は、町内に1校を基本的な方針としています。小学校については地域活動拠点の一角としての役割があると認識しています。
9	廃校を利用して小学または中学の不登校特例校を作ることができれば、リモートでも働ける働き盛りの子育て世帯が毎年移住してくると思います。不登校特例校には非常に大きなニーズがあり、他に先行者有利案件はほぼ残っておらず、人口を増やす唯一の起死回生の方法だと思います。難しいとは思いますが、この難しさの中に南知多の課題が濃縮している気がします。	学校教育課	閉校した学校については、今年度策定される「南知多町公共施設再配置計画」を踏まえて、民間への売却を含め、利活用を検討していきます。子育て世帯の移住の方法として、不登校特例校の設置を提案いただきましたが、既存施設は老朽化しており、ある程度の改修費が必要であることから現在のところは考えておりません。
10	子どもたちへの体験を提供したいがどうしたらできるか？(びわ狩りなど)	学校教育課 社会教育課	令和5年度に開校した南知多中学校において、コミュニティスクール(学校運営協議会)を設置し、学校と地域が協力し合い学校運営を進めていきます。地域交流についても可能な限り計画していきたいと思えます。子どもたちの地域行事への参加は、南知多町の将来を担うためにも大切なことだと考えています。学校や教育委員会においても地域行事参加への周知を図りたいと思えます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 1-3	生涯通じて取り組む健康づくり			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	健康南知多プラン推進事業は、プランに終わらず、実際に町民の役に立っているだろうか？町民に届かないプラン立てにお金と時間とボランティア労力が使われているか？その年度毎に立てたプランの成果を示して欲しいです。	健康子育て室	保健衛生一般管理費	ご意見ありがとうございます。 けんこう南知多プランについては、推進員の皆様にご意見をいただきながら、5つの重点項目「こころ・休養」「食生活」「歯」「運動」「たばこ・アルコール」についての取組みを推進することで「このまちで夢と元氣と生きがいづくり」の実現を目指すものです。今後も適切な予算執行、効果的な推進が図られるよう事業を推進してまいります。中長期的な成果につきましては、5年ごとの定期的な評価実施時のアンケート調査結果を、毎年度の取組成果につきましては、具体的な活動状況も含め、町広報や町公式ホームページ等を通じて公表してまいります。
2	南知多町と美浜町で知多厚生病院を官民製の医療機関にしてみっと検査機械の最新化をしてみっと利用しやすくしたらどうかと思います。	健康子育て室	地域保健医療事業費	知多厚生病院につきましては、特別交付税を活用した「知多厚生病院運営費補助金」を美浜町とともに交付し、知多南部地域における公的病院としての役割を担っていただいております。検査機器等設備に関しましては、平成20年度から29年度の10年にわたって「知多厚生病院診療棟整備事業補助金」を交付し、地域住民が利用する医療施設の整備と充実が図られました。
3	コロナ対策での町の取組は評価できる。今後、町の医療健康体制づくりでは、住民にわかりやすいパンフレット等の作成が必要。緊急事態での病院内などをわかるようにしていくことです。	健康子育て室	地域保健医療事業費	ご意見ありがとうございます。 今後も一次救急を担う在宅当番医制度の実施、二次救急を担う知多厚生病院を始めとした知多地域における他市町村及び8指定病院との連携に努めてまいります。周知については、引き続き町広報、町公式ホームページ等を活用してまいります。緊急対応が必要な場合については、知多南部消防組合と連携し、迷わず119番通報していただけるよう引き続き周知を図ってまいります。
4	100歳体操はとても良いと思っています。	健康介護課 包括支援センター		もっとたくさんの町民のみなさまへ知っていただけるように活動を実施していきます。
5	予防医療にも力を入れてほしい。	健康子育て室	予防接種事業費	感染症予防につきましては、町の実施する予防接種事業の適切な執行に努めてまいります。
6	生活習慣病に対する予防のための啓蒙が必要。	健康子育て室	保健衛生一般管理費 健康診査事業費 国民健康保険特別会計	全世代の住民を対象としている「けんこう南知多プラン」では、5つの重点目標の中から毎年1つテーマを決め、健康増進に向けて各世代に合わせ取り組んでいます。令和4年度は、食生活をテーマに、食便との連携の下、南知多町の特産であるキャベツを活用したヘルシーレシピや食生活に関するトピックスを広報に掲載しました。 また特定健診受診者に対して、特定健診保健指導を実施しています。令和4年度保健指導実施割合25.6%（速報値）となっています。 また自身の健康保持・増進を目的とした「けんこう南知多マイレージ事業」を実施しています。 今後もこれらの事業を推進し、町広報や町公式ホームページ等を活用して、生活習慣病予防の普及、啓蒙に努めてまいります。
7	離島の緊急医療体制での不安点が深夜などの船での移動です。海上タクシーで本土へ行くとしても繁忙期になる夏など、利用するのに難しい時もあると思います。料金は発生しますが、個人の商売をしている中で、なおかつ緊急搬送もとなると仕事の妨げにはなっていると思います。町で緊急用でも利用できる船を一隻用意するか、それが難しい場合は補助として利用した船にプラスで補助を出さないと、海上タクシーも年々減っていて負担が増えてきてしまうと思います。	防災危機管理		町が船を一隻保有することは費用や管理の問題から難しいことと考えます。 現在、離島からの緊急海上搬送については、深夜や繁忙期など、事業者の負担増分に対しての補助制度はありませんが、知多南部消防組合からは運航料金に対する補助金があり、町としても、コロナ禍における協力金やウイルスコーティング補助、燃料費高騰に対する支援を実施しています。 離島からの緊急海上搬送については島民の生活に直結する重要課題でありますので、地域とともに、事業の継続や支援について検討してきたいと考えております。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 1-4	個性を活かす障がい者福祉		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	<p>様々な障がいのある方、認知症の方、子育て中の家族、青少年、元気な高齢者、引きこもりがちな若者、様々な方が気楽に集えるカフェのような場所を作りたい。子どもや若い世代には多様性を学ぶ機会、障がいのある方や高齢者、生産年齢の方には必要とされたり居場所の1つとなったりする。今は「こころの時代」豊かさは心の満ち具合。スツと気の抜ける場所、やる気の出る場所、そして経済を回す場所としてソーシャルなお店を作りたい。</p>	健康介護課	<p>地域食堂や認知症カフェなど、地域での集いの場や居場所づくりはとても有意義だと思います。必要であれば、町社会福祉協議会とともに支援できればと思います。</p>

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 1-5	安心して住み続けられる長寿社会		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	町職員ではなく、シルバー人材センターの方や学生に見守り巡回してもらうのはどうか。そういう協働で保つ方が安定的ではないか。自助共助や支え合いは若い世代が少ない以上、支えられる側が多すぎて共倒れになると思う。人口流出とコミュニティの限界ははっきりと見えています。少ない予算で、高齢者に健康に暮らしてもらうためには高齢者が賃金を得て人を助ける、学生の学びの場としての老人福祉があっても良いのではないのでしょうか。	健康介護課 高齢者見守り事業	町職員が定期的に見守りを行うことで、ひとり暮らしの高齢者が安心して生活できると同時に、職員にとっても直接お会いして住民の方のお声を聴く機会となっています。 必要な方は、地域の有償ボランティアが支援する「ミナ助けあい隊」もご活用いただけます。
2	見回りは大切で遠隔カメラでも見守る仕組みや年寄り同士で連絡が取れるようにしたらどうだろうかと思えます。	健康介護課 高齢者見守り事業	同上
3	75歳以上ひとり暮らし高齢者を町職員が見守り訪問を2か月に1度？それを1週間に1度にしてください。せめてもの回数です。本当は1日に1度がいいですが・・・！	健康介護課 高齢者見守り事業	見守り事業の対象となる方は、介護サービスを使わずに一人で生活されている方です。何らかの支援が必要な方は他の事業をご紹介しますのでご相談ください。
4	紙オムツは全額負担。	健康介護課 紙おむつ給付事業（高齢者）	在宅介護家庭の負担軽減のため、介護や障害の状態が重度の方に対して、町と社会福祉協議会でおむつ購入費の一部を補助しています。
5	予算事業に75歳以上一人暮らしを見守り訪問とあるが、私も地元で60年住んでいて思うが、75歳以上の一人暮らしに限定してしまうと見落としがある。例えば、登録は高齢のご夫婦になっていても実際はどちらかが入院していたりして実質一人暮らしのようなものなので、75歳以上の見守りにした方が良いと思う。	健康介護課 高齢者見守り事業	実際の生活がひとり暮らしであれば見守り対象となりますので、住民票とは違う実態であればご連絡ください。なお、民生委員等からいただいた情報で実態が把握できた場合は対象者の追加も行っています。
6	町職員の見守り事業が行われている、一人暮らしで聞き取りなどを行っているが、その際必要な情報のパンフなどを提供してもらいたい。	健康介護課 高齢者見守り事業	訪問時に困りごとやご相談があった際には、関係課へつなげたり、お調べした上で必要な情報をお知らせするようにしています。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策	豊かな自然を活かしたひとづくり		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1-6	豊かな自然を活かしたひとづくり		
1	町民や移住者、移住希望者は「触れ合える自然」を求めているが、都市部よりも触れ合える自然が少ない。公共の、分かりやすく老若男女が利用しやすい「自然と触れ合える場所」が整備されるべきです。乱開発され放置された跡地や、地域の史跡や鎮守の森を整備し、南知多を感じられる場所を提供する。子どもが立ち入れる里山のような場所の整備は子育て世代の囲い込みと呼び水になる。触れ合える自然を管理するための予算は組めないのか。環境保全費や農業土木費から自然公園を生かす里山公園整備費は作れないのか。	産業振興課 環境緑化推進事業費	地域の方が地元の里山を守っていききたいとの場合、里山林整備事業があります。この事業では放置されて荒れてしまった里山の立木や竹の伐採や枝払などを行い、管理歩道等を設置することができますが、整備した里山を20年にわたり管理していく必要がありますので地域での合意形成が必要です。
2	太陽光パネルの撤去。	環境課	今後は条例に基づき指導してまいります。
3	ソーラーパネルは不許可にして。	環境課	令和5年2月より施行された南知多町太陽光発電設備の設置等に関する条例に基づき、災害の防止、良好な景観及び生活環境の保全を図ります。
4	せっかく海があるのだから漁業権を解放されたことを受けて誰でも海に入って生まれた場所に興味と親しみが持てるようにできたらいい。我々も子供の時に自由に海に入ってカニや魚を捕まえて海に親しんでいい思い出ができ、地元を大切にしようと思えるようになりました。	学校教育課 環境課	各小学校では、海に接する授業(みさき小では海に親しむ会など)を開催しております。また、自然観察会等にて海や生き物に触れる機会を提供しております。
5	これまで南知多町のハイキングロードやサイクリングロード(サイクリスト)の整備を要望してきたが未だ実現しない。多くの自治体でサイクルロードの整備やトイレ休憩場所の提供などが進んでいる。余剰の公園や、今回乱開発にさらされた檜木地域の整備など、新たな観光拠点としての南知多が出来ていくと思う。(昨年と同様)	産業振興課	新たな観光拠点の整備は、観光振興にとって重要だと考えておりますが、ハイキングロードやサイクリングロードの整備やその維持管理には多額の費用がかかります。国県補助金等により財源を確保できるものがあれば整備していきますが、本町の限られた予算の中では、喫緊の課題である公共施設の再配置を優先的に行っていきます。
6	生き物観察会やビーチクリーン、稲刈り体験会もこれに当たると思いますが、名古屋の子育て世帯がリーチしやすい形で宣伝してはどうですか。(例えば愛知県内の保育園に配られる「ママごはん」などの小冊子に、小さくても南知多を宣伝する広告欄を持つなど。少額でも効果的に子育て世帯イベント周知ができて、南知多への関係人口を増やせるのではないかと)	環境課 産業振興課 成長戦略室	自然観察会につきましては、町内在住の子どもたちをメインに開催しております。また、駐車スペースや参加者の安全性を考えると今の規模が妥当と考えます。ビーチクリーンや稲刈り体験会につきましては、各主催団体の方に広報活動をお願いしております。
7	住みたい、戻りたいとしたいのであれば、まだまだ町は補助や支援が足りない。育てるには田舎で最高の場所であっても、子育てには今、南知多町は向いてないと思います。	健康子育て室	アンケートや聞き取り等により本町に必要な子育てへの支援はどういうものか、また、その他の要因があるのかも含め調査・分析を行っていきます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 1-7	郷土愛、つながりを育む文化・スポーツ		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	<p>スポーツや文化を維持するには、現代の生活スタイルに大きな負担となる。学校教育に外部講師を招いて開くスポーツ講座を組み込んだり、スポーツ少年団のような組織が個人のボランティア精神に任せただけでなく、賃労働であってもいいのではないか。学びとしてスポーツを始めたい子どもがいても、家庭に金銭的余裕または時間的余裕がなく諦める子どもがいるので、スポーツの習い事に補助金を付けたり、送迎や保護者負担を減らす支援があれば青少年だけでなく、老若男女スポーツに触れ合え、身体の健康にも寄与するのではないかと。「健康な体づくり支援事業(仮)」として広報等で呼びかけ、定額または実費など支援してもいいのではないかと。</p>	<p>学校教育課 社会教育課</p>	<p>学校で行っている土日の部活動においては、令和7年度までに地域部活として移行することとなり、地域スポーツクラブ等の方を中心に報酬制とする予定をしています。学校で行っている土日の部活動については、令和7年度までに地域部活動として順次移行していくことになっています。部活動の指導員の派遣や地域スポーツ団体への参加を含めて現在検討を行っています。また、個人で行っている活動に対して町から補助を出すことはできませんが、社会教育課では、囲碁ボール・グラウンドゴルフ・ヨガ・体幹トレーニングなどの無料で参加できる教室や大会を開催していますのでぜひご参加ください。</p>
2	<p>なぜ、伝統行事、祭りが大切なのか、子どもの頃から伝えられると良いと思います。</p>	<p>学校教育課 社会教育課</p>	<p>学校では、「総合的な学習」として地域の方を招き、郷土学習として伝統行事や祭りのことを学んだり、農作業や漁業体験等を行ったりしています。また、令和5年度に開校した南知多中学校において、コミュニティスクール(学校運営協議会)を設置し、学校と地域が協力し合い学校運営を進めていきます。地域交流についても可能な限り計画していきたいと思っています。子どもたちの地域行事への参加は、南知多町の将来を担うためにも大切なことだと考えています。学校や教育委員会においても地域行事参加への周知を図りたいと思います。本町では伝統行事、祭り等を含む地域の文化財を住民に発信し、価値を認識してもらい、さらに活用を通して地域活性化につなげるとともに、後世に継承していこうとする「南知多町文化財保存活用地域計画」を作成するため協議しています。完成した計画の中でこれらの課題を解決できるよう努めてまいります。</p>
3	<p>受け継いでいく人がいる郷土愛であり、町内の人が利用できる施設も町民がいてからこそであるため、今後縮小傾向になっていくのは必然的である。ただ受け継いでいく努力は必要だと思ふ。</p>	<p>社会教育課</p>	<p>本町では伝統行事、祭り等を含む地域の文化財を住民に発信し、価値を認識してもらい、さらに活用を通して地域活性化につなげるとともに、後世に継承していこうとする「南知多町文化財保存活用地域計画」を作成するため協議しています。完成した計画の中でこれらの課題を解決できるよう努めてまいります。</p>
4	<p>地元の祭礼などの行事は人的減少でこれまでの形態を維持するのは困難でコロナ禍で大きく後退するのは必至、少人数化で年代を問わない企画が必要だと思ふ。</p>	<p>社会教育課</p>	<p>ニーズ番号 3と同様</p>
5	<p>地域を大切にすれば学校をつぶすな。</p>	<p>学校教育課</p>	<p>教育委員会では、小学校は、5地区に各1校、中学校は、町内に1校を基本的な方針としています。小学校については地域活動拠点の一角としての役割があると認識しています。</p>
6	<p>文化財保護と博物館の建設(空き校舎や施設の再利用など)最近の発掘調査ブームなど生かせる資源が沢山ある。(昨年と同様)</p>	<p>社会教育課</p>	<p>ニーズ番号 3と同様</p>
7	<p>毎週、総合体育館でのヨガ教室に参加しているが、町の費用の補助があるといい。</p>	<p>社会教育課</p>	<p>個人で行っている活動に対して町から補助を出すことはできませんが、社会教育課では、例年ヨガ教室や体幹トレーニング教室を無料で開催しています。</p>

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 2-1	豊かな海と産物を活かした水産業		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	豊浜地区に関して、新規に漁師になりたい若い人が住みやすい手頃な賃貸住宅又はアパートがないので、他所から雇い入れたくても雇いにくいです。	産業振興課	漁業振興対策事業費 農林漁業の新たな担い手を確保することにより、農林漁業の振興を図るとともに、町外からの転入者を受け入れることにより、定住促進と町の活性化を図ることを目的に、新たに農林漁業に従事する者(年齢等の条件あり)に対して家賃の一部補助を実施しています。また、空き家バンク制度の活用なども広く紹介していきます。
2	この町の魅力の大きな部分である海産物。観光客も県民も南知多の海産物は「目的」として十分な資源です。漁業収入はこの町の財政の大きな位置づけであるから、漁場を豊かにすることや人材確保、そして広報は全力で投資してください。	産業振興課	ご意見ありがとうございます。今後も引き続き、県、漁協をはじめとする関係機関と連携し、漁場環境の整備、資源管理による持続可能な漁業の確立、新規漁業就業者の確保に努めていきます。また、町の豊かな水産物を活用した地域産業観光については、今後も引き続きPR活動等に努めていきます。
3	魚の種苗放流はとても意義のある事業だと思いますが、漁業関係者に「成長乱獲」の意識はあるのかと疑問に思う時があります。もう2～3年待てば大きくなるであろう小さな魚まで早獲り競争のように根こそぎ水揚げしては資源管理も何もないどころか一度に処理もできないので家畜の肥料にするしかないという現状、構造的な欠陥を感じます。漁船ごとに漁獲枠を設け、それに満たなかった漁師には町が補填をする…というのは難しいとは思いますがそれくらいしか解決策は無いような気がします。	産業振興課	栽培漁業振興対策事業費 愛知県、管内の各漁協をはじめとする関係機関と連携し、採捕禁止期間、体長制限、操業区域の制限や、稚魚・稚貝など種苗放流、TAC(漁獲可能量)管理などにより水産資源を保護するなど、漁業経営の安定化を図っています。また、各漁業者においても、自ら資源管理計画を策定し、資源保護に取り組んでいます。
4	衰退していく水産業では生活で生き抜くための教育が必要だと思います。就職についての消去法で漁業に従事するのは危険で衰退に拍車がかかるので水産の教育を取り入れることで地元就職する環境を整えたらどうかと思います。	産業振興課	新規漁業就業者確保の観点から、漁村地域の中学生を対象とした漁業体験教室を愛知県が実施しています。また、町においては県と協力し、水産物に親しみをもちもらうため、漁業者が小学校を訪問して行う出前授業や、地元で獲れた水産物、魚食文化に関する理解を促進するため、料理教室を実施するなど、今後も水産業の普及活動に努めていきます。
5	小女子・蛸・イカ・蟹等魚が獲れなくなっている。難しいが、原因究明や対策など研究する場、町民(漁師)が学習する場を設けられないか？	産業振興課	愛知県により、研究活動について広く漁業者仲間に発表する機会として、「愛知の水産研究活動報告会」を毎年開催しています。また、その他でも、漁業者の知識や意識向上を図るための研修会なども随時開催しています。
6	最近の漁業不振は、温暖化に一因があり、今のうちに取れるだけ獲る漁法では町はつぶれる。温暖化の原因調査など水産試験場の協力なども得て広報活動を強める。福島原発の汚水の放流などは町として「反対」の意思表示をお願いしたい。(昨年と同様)	産業振興課	栽培漁業振興対策事業費 採捕禁止期間、体長制限、操業区域の制限や、稚魚・稚貝など種苗放流、TAC管理などにより水産資源を保護するなど、漁業経営の安定化を図っています。また、各漁業者においても、自ら資源管理計画を策定し、資源保護に取り組んでいます。なお、漁業不振、魚価低迷など様々な諸問題については、ご意見のとおり愛知県水産試験場等の専門機関主導のもと、町として広報PR活動等に努めます。
7	高知県黒潮町のように、地域の美味しい水産物と地域の野菜をコラボさせて、南知多の味を防災缶詰にできないでしょうか。	産業振興課	本町の豊かな農林水産資源を活用した農林水産業の6次産業化や、農林水産業と商工業、観光業との連携を推進し、地域の活性化につなげていくことを目的とする「南知多町産業振興協議会」により、基準をクリアした町産品を南知多ブランド「ミーナの恵み」に認定するなど、6次産業化・ブランド化の実施事業者、希望事業者のサポート、新商品の発掘等を行っており、今後も引き続き事業支援、ブランド推進に努めます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 2-2	豊かな農地と産物を活かした農業		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	優良農地は効率化して太陽光発電など入り込ませないようにし、分散農地や特性の強い農地はそれに適した付加価値のある作物を作り、南知多町産を誇ってマーケティングしたらもっと収入に繋がるはず…そういったコンサルやコーディネーターが自分にも出来たらいいのですが。小規模農家も南知多で生産しているだけで価値が生まれるよう、町としてもマーケティングや広報に予算を投資しては。	産業振興課	優良農地につきましては、農業振興地域の整備に関する法律や農地法により転用の制限があります。また、所有者自ら耕作ができない場合でも比較的耕作者が見つかりやすいため、太陽光発電等の開発につながらないと考えています。一方、分散農地等では、規模拡大が図りにくく、兼業農家等の方や家庭菜園での利用が考えられます。付加価値につきましては、生産した農作物を加工し、販売するなど、六次産業化に取り組んでいる方もいらっしゃいます。
2	農業の振興はまずは経験だと思うので高齢者の長い経験の意見をまとめてマニュアル化して効率よい作物方法を若手が引き継がように仕組みを作れば交流が活発になり発展する可能性があると思います。	産業振興課	就農を志す方の中には、就農準備資金を受けながら、農業大学校などの研修機関で研修を受けている方が多くいます。研修を受けた方でも、就農後、直ちに農業の経営確立は困難なため、経営開始資金を受けています。地域で農業に取り組んでいく中で、ベテラン農家の方から若手農家の方へ知識等を引き継いでいけるような関係が築いていけたらと考えています。
3	できれば地元の農業の少ない野菜を食べたい。しかし自給率はどんどん下がり、JAの野菜売り場もほとんどつぶがされている。JAを守り、農家の人が安心して暮らせるだけの保証をしてほしい。	産業振興課	町では、環境保全型農業(有機農業や慣行農業における化学肥料化学農薬の基準の1/2以下に抑えた農業)への取り組みを支援する補助事業を実施しています。また、農家の収入面へ不安解消のため、町では、青色申告を行っている農業者が加入可能な収入保険への加入を推進しています。令和5年度においては、この収入保険の掛け金の一部助成事業を実施予定です。また、町内の直売所の減少は課題であると考えています。
4	新規の農業従事者が生産した農産物の販売に苦慮している。現行のスーパーや農協関連の販売は門戸を閉ざしているに見える。町の積極的な施策により「道の駅」や「南知多町アンテナショップ」を開設し、これからの農業従事者に販路を提供し、同時に観光客にもアピールする取り組みをお願いしたい。	産業振興課	JAにつきましては、組合員となり産直部会に加入すれば出荷できると考えています。また、農家の中にはJAを通さず、直販している方もいらっしゃいます。しかし、販路拡大や地産地消は課題であると考えています。
5	他市から南知多で農業をやりたい！との希望者に利用しやすい施策を検討し紹介する取り組みが必要だと思う。ウクライナ戦争での食料危機が深刻化し、自給率の低下が緊急課題に。農業従事者を育成する施策を進めてもらいたい。	産業振興課	南知多での就農希望の相談については、関係機関及び農業委員と協力して支援しています。希望作物や規模などの聞き取りを行い、農地の貸借が可能か調整します。また、各種支援制度についても検討し、支援していきます。
6	農協ではなく町で産直市場など開いてほしい。	産業振興課	町(公的施設)として直売所を運営するには、建設費用や持続的に運営するための費用も含めて採算面の十分な検討が必要と考えています。ただし、町内の直売所の減少は課題であると考えています。
7	個人的には漁業以上に農業は、やり方次第で伸びしろがあるように感じる。休耕地となっている農地も多いので、農業者に対する許可なども柔軟に対応して活性化していきたいと思う。	産業振興課	南知多町では、就農希望の方に対して、就農に際する課題(資金、農地、住居等)への支援を行っています。ぜひご相談ください。
8	販売網を広げる手伝いを充実しては。	産業振興課	2-2 ニーズ番号4と同様

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 2-3	新たな魅力や価値を生み出す商工業			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	「地域の特色や資源を活かして…」というのも大変意義のあることだと思いますが、それに縛られ過ぎるのも発展の妨げになるかと思えます。他の地域の食材も柔軟に取り入れ、掛け合わせていくことで新たな可能性が広がっていくと思えます（何を取り入れるかはその人のセンスによるとは思いますが…）。	産業振興課	商工業振興事業費	地元の名物を創出するべく、地元の食材を使用した崎っぼめしを開発いたしました。一方で、南知多町は知多半島観光圏協議会やGOGO三河湾協議会に加盟しております。協議会を通し、知多半島および渥美半島を挙げて観光PRに取り組んでおりますので、他市町の食材や特色を絡めた事業を柔軟に展開できるよう、検討してまいります。
2	基本施策2-3、2-6で提案。商工会を合併しろ。	産業振興課	商工業振興事業費	南知多町の3商工会の合併については、平成5年度に検討がなされ、合併に向けた事業が実施されましたが、平成10年度に白紙となりました。しかし、1町村1商工会が原則であり、会員の減少等により、商工会の存続が難しくなることも考えられますので、商工会の合併は必要であると考えております。今年度については、町産業振興課と3商工会事務局長による連絡会議等により、合併の協議を進めております。
3	やはり町内の若者が地元就職しやすいように時限的に税優遇したり、空き家を若者に提供したり何らかの手を打って若者に住みやすいように意見を聞いたりして地元就職すれば出生率も上がると思えます。	産業振興課	労働環境対策事業費	町内の既存事業者の事業継続についても様々な課題を抱えており、新規就労者への優遇が難しい状況にあります。そのため国や県等の補助金を活用しながら対応していきたいと考えております。また南知多町役場にて、ちた地域若者サポートステーションと連携し、若者就職相談を月1回実施し、働きたい若者のサポートを実施しております。さらなる若者の就労支援のため、商工会や成長戦略室の空き家対策事業と連携し、検討してまいります。
4	地元PRは効果あると思った。先っぽ料理で町外の人から聞かれ、勧めることができる。	産業振興課	商工業振興事業費	昨年度、地元の名物を創作するため事業を立ち上げ、崎っぼめしを創出いたしました。多くのメディアや雑誌にも取り上げられ、町としてもPR効果があったと感じております。今後についても崎っぼめしの出店店舗の拡充を図り、地元PRに努めてまいります。
5	個人で営んでいる店舗、工場などが最近多く減少していくのを感じる。また、募集をかけても働き手が見つからないという課題もある。	産業振興課	商工業振興事業費	おっしゃるとおりで、町内の事業者においては、事業継続について様々な課題に直面しております。町では、小規模企業等振興資金の保証料に対する補助金を交付するなど、資金調達にかかる補助をしております。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 2-4	何度も訪れたいくなる観光・交流		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	姉妹都市交流は要らないかな。日本中旅行し持続可能な地域活性化を学んで実行してきた自身としては、観光案内人の育成や、「グリーンツーリズム」のような自然や農林漁業と地域の人の繋がりを全面に押し出した「旅」の在り方に予算を掛けた方が良いと思う。お金もほとんどかからないし、繰り返し人が流入する。中には定住する人も出てくる。私はグリーンツーリズムを専攻し実施していたので、子育てが落ち着いたらコーディネートしていきたい。	産業振興課	観光振興事業費 観光案内人の育成としては、観光人材育成事業として年に一度、町観光協会と協力して観光ボランティアガイドの皆様と一緒に他市町の観光案内を見学し、今後の観光ガイドに役立つ知識を学んでおります。また、これから「持続可能な観光」としていくためにも、土地の魅力を味わえる交流型観光や地域の魅力を活かした観光は必須となってくるため、愛知県が主催する「観光まちづくりゼミ」などに参加し、新しい観光の在り方を学んでいきます。
2	情報発信を個人の努力に頼り過ぎてはいないか？それならそれで町が意欲のある住民をSNSアンバサダーに認定するなどいろいろ支援の方法はあると思います。	産業振興課	観光振興事業費 現在、町観光協会を中心としてSNS発信を実施しておりますが、住民からの視点も情報発信のうえで大切なので、発信していただける住民への支援を今後検討していきます。
3	もっと魅力ある町へ発展しないと有料道路がもったいなくて来ない。	産業振興課	観光振興事業費 観光イベント等における内容の充実や周知方法を町観光協会と協力して検討しておりますが、更なる魅力向上のために今後も観光客のニーズに合った施策を検討します。
4	特産品に認定された商品は本庁の玄関に掲示されているが、ミーナの恵認定品はそこにはない。ミーナの恵み認定ブランドのコーナーが無いのは不思議です。	産業振興課	産業連携推進事業費 ご指摘のとおりです。ミーナの恵みにつきましては、現在、町公式ホームページでの掲載のみとなっております。
5	竹やぶを整備して肥料化に力を入れて。	産業振興課	ご意見ありがとうございます。現在のところ、町としての計画はありませんが化学肥料の低減などにつながる取り組みであると考えています。また、竹の侵食による農地の荒廃化防止にもつながる可能性もあり、竹の肥料化への取り組みを希望される方がいらっしゃいましたら、活用できる補助事業を検討したいと思います。
6	観光業で大切なことは観光資源と宿泊所を維持することだと思います。旅館や民宿の空き家を民泊にして後継者を募ったり、人手不足を緩和することを考えることも大事かと思えます。	産業振興課	観光振興事業費 観光業が盛んである本町において旅館・民宿業の施設維持及び事業承継は大きな課題となっており、観光品質の高さを認証するサクラオリティの認証を推進しております。また、旅館組合や民宿組合の会議のなかで事業承継や人手不足等の課題について協議してまいります。
7	総合管理計画で内海駅近辺の観光協会の改善を求めた。また、河和に南知多のアンテナショップの提案をした。検討を！（公共施設等パブリックコメント）(昨年同様)。アンテナショップは、観光客の利便のみならず、町民の各種証明などの発行手続きなども行う「町のミニ出張所」を兼ねる。	産業振興課 総務課	現在の観光案内所が目立たない場所にあり高架下の空き店舗への移転の要望につきましては、現在の場所での案内が長年続いていることもあり建物の更新時期に検討いたします。また、アンテナショップ及び各種証明などが発行できる「町のミニ出張所」につきましては、河和への設置の需要の有無と費用対効果を検証します。
8	南知多町の観光PR系のパンフレットに関して、各地区・団体が個別で散発的に作るのではなく、例えば年に一度、全ての地区の観光・土産・宿泊・食事諸々をまとめた一冊のパンフレットを作った方が、費用対効果が高いのではないかと思います。(愛知県のイベントにて南知多町の観光PR系のパンフレットを配布した際に、(悪い意味で)こんなに数があるの？という反応がそれなりにありました。	産業振興課	観光振興事業費 南知多町総合パンフレットとして観光名所やイベントなどを掲載した「すぐ楽しい南知多の休日」や町内3商工会が作成した各地区の名産品が掲載されている「南知多名産認定品ガイド」を作成・配布しております。しかし、より多くの方が気軽に本町のことを知ってもらう機会を増やすためにも、紙媒体ばかりでなく、DXに対応した費用対効果の高いPR方法を検討していきます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 2-5	新たなチャレンジを創る起業支援			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	<p>起業しようとしていますが、何やら町が突っ走って鼻眞にしている企業があるとかないとか。持続可能性は検証されたのでしょうか。農地も平地はほぼ無いので、集積にこだわらずに、町の農産品の価値をアピールした方が経済的では。町内で起業したい人は「生産人口」であり、「子育て」をするかも知れません。働きながら子育てしていける環境が整備されていない事には「起業」して成功するような人は来ません。リサーチ力がありますから。将来的に人生を豊かに過ごせるか、多角的に見ています。人口を増やしたいのなら、安心して暮らせることを証明できる受け皿を整備し、ガイドブック(Web)を作成することに予算を使う。</p>	産業振興課		<p>基盤整備を行なった農地については、担い手に集積されている。 また、主たる原料に町内で生産された農林水産物を使用し、特に優れた技術・技法により加工された品を「ミーナの恵み」ブランドとしての認定や六次産業化への取組みを支援しています。</p>
2	<p>まず働き手を確保することも重要かと思えます。仕事をしていない人を斡旋したり、人材募集を応援することを町を上げて取り組むことも大切かと思えます。</p>	産業振興課	労働環境対策事業費	<p>ハローワーク半田が提供している求人情報にて、町内で求人募集をおこなっている事業所を把握し、随時問い合わせに対応できるよう努めております。また、3商工会と連携し、人材不足が課題となっている事業所を把握するなどして、働き手の確保をする方法を検討していきます。</p>

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策	価値ある産業を残す事業承継支援			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
2-6				
1	受け継ぐべき事業は洗い出されているのか。洗い出されているのであれば、M&Aを町が仲介してもいいのではないかと。そこに大して予算は割れない。	産業振興課		町内の各商工において事業者数の把握はしており、商工会事務局長連絡会議や観光協会支部長会議などにて、事業所の現状を話し合う機会があるものの、受け継ぐべき事業の洗い出しは実施しておりません。M&Aにつきましては、町として対応が難しい部分もありますので、M&A事業を展開している政策金融公庫と連携し、事業の周知を行ってまいります。
2	不漁渦の水産業及び地場産業の様子を見る限り発展は厳しいと思う。	産業振興課		ご意見ありがとうございます。今後も引き続き、県、漁協をはじめとする関係機関と連携し、漁場環境の整備、資源管理による持続可能な漁業の確立、新規漁業就業者の確保に努めていきます。
3	基本施策2-3、2-6で提案。商工会を合併しろ。	産業振興課	商工振興事業費	基本施策2-3のニーズ番号3と同様
4	後継者難や人手不足は町を上げて調査して町外から人を呼び込むことに努力するのは大事。	産業振興課		現在、町が主導とする事業承継に関する体制が構築できておりませんが、商工会や政策金融公庫等と連携し、事業承継に係る支援策などを検討してまいります。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策	働く環境づくり			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	環境が悪く、町内の労働者が敬遠するような場所で外国人労働者が働き、企業によって待遇もピンキリ。	産業振興課	労働環境対策事業費	日本人労働者と外国人労働者の格差が発生しないよう、東海愛知経営支援協同組合や半田公共職業安定所と連携しながら、国籍を問わず皆様が安心して働くことが出来る環境づくりに努めてまいります。
2	インフラ整備こそ、町内雇用を産む。	建設課		雇用促進につながるインターチェンジアクセス道路などの主要な国道、県道については、必要に応じて県に要望をしていきます。
3	衰退していることに資金を使うより。今はもうすぐ起きる大地震津波に備えて高台の施設整備、防災グッズ、備蓄食料などに予算を重点的に早急に準備してほしい。	防災危機管理室	災害対策事業	災害対策費については重点事業に位置付け、備蓄食料や資機材の整備を推進しています。
4	まずは町の職員のデジタル化と効率を良くしていくこと、何回もその課でどうすればいいのかミーティングを重ねて改革をお願いしたいです。	企画財政課		現在働き方改革の一つとして役場内の業務等におけるデジタル化を進めております。また、利便性の向上のため各種申請についての電子化についても推進をしております。
5	少子高齢化が進み、工場や農家、介護施設の運営により多くの人手を必要としている日本にとって、外国人労働者の方々に来てもらって働いていただくことが今後さらに必要になってくると思う。彼らに気持ちよく南知多で働いていただくことや、地域と協同していくことも大切だと考える。南知多はこれについてどのような取り組みを考えているか。	産業振興課	労働環境対策事業費	東海愛知経営支援協同組合や師崎商工会に対して、外国人技能実習生が対象である講習の町職員講師派遣や入国後講習会及び技能実習評価試験会場の使用料免除をおこない、外国人労働者が日本で働くために必要な知識等を学ぶ機会を作る支援をしています。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-1	まちと命を守る防災		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	自主防災組織に任せすぎです。学校や職場から動けない人たちが置いてけぼりになるので、各事業所に防災倉庫と発災時の訓練を呼びかけ、一人ひとりが対応できるように意識向上に予算を。助かって凌ぐのはほぼ自助なので、啓発に力をいれたい。	防災危機管理室	ご意見のとおり、防災の基本は自助(自分の命は自分で守る)が重要です。町民個人向の啓発に加え、事業者向けの啓発も取り組んでいきます。
2	以前のアンケートでも伝えましたが、ライブカメラの設置は観光と防災の両面で効果があると思います。内海海水浴場(夕陽が写るように)、豊浜漁港(鯨りの様子が写るように)、師崎フェリー乗り場(出寄港の様子が写るように)など、南知多の各所に。いざ津波が起こればその惨状がリアルタイムで外部に伝わり、ボランティアや支援物資なども早期に集まると思います。	防災危機管理室 産業振興課	防災面でのライブカメラ設置の予定はありませんが、ご意見のとおり、災害時に支援を受ける際の広報は重要ですので、ボランティアや物資の支援について適切・効果的に受け入れができるよう準備を進めていきます。
3	井戸のある場所を調査して、水質検査や管理などに補助をし、災害時に使える井戸を増やして欲しい。	防災危機管理室	町としては、災害時に生活用水として個人所有の井戸を活用するために、普段の管理・清掃などを近隣の方や地域、自主防災組織を中心として各地域で体制づくりをすすめていただきたいと思います。
4	ため池が多くあるが、ため池も津波を起こすことを住民に周知して、対策を講じてほしい。	建設課	町内の30ある防災重点ため池(地震や豪雨などの災害時に決壊すると下流の住宅などに甚大な危険が及ぶ恐れのあるため池)については、町ホームページにおいてハザードマップを掲載し、注意しています。あわせて耐震化及び豪雨対策の工事を順次実施しています。
5	高浜の県道247(高浜一かも保育園)避難路に指定されているが、道幅が狭く、水路に蓋がなく危険である。避難道路として緊急の整備が必要。初神と豊浜信号間の水路(バス停などがかる)開口は水路が深く危険。至急の暗渠化を望む。(再掲)	防災危機管理室 建設課	高浜の県道大井豊浜線沿いの暗渠化につきましては、愛知県により工法検討等を行った結果、隣接家屋とのすりつけが困難なことや工事実施の際の通行規制が長期間にわたるなど地域交通への影響が大きいため、現在、河川と相対する道路南側への道路拡幅(歩道設置)を計画しています。今後は、沿線地権者様のご協力を得ながら事業を進めてまいります。初神と豊浜信号間の水路開口部につきましては、最低限の道路幅員も確保されており、費用面や工法面を勘案し、暗渠化は困難であると考えています。しかし、ご指摘のとおり路線内において、歩行者等が転落する危険性が高い箇所があれば、随時、ガードレール等の追加設置を行うなど、安全対策の強化を図ります。
6	高知県黒潮町のように、日常食にしても美味しい地域の魚や野菜を使った防災缶詰は作れないでしょうか？水産物と農産物がコラボできる加工品の企画がもっと必要だし、不安な非常時こそ、コンビニのおにぎりやパンではなく、南知多のものが食べられたらほっとします。災害時には甘いものが求められますが、甘味缶詰は種類が少ないためネットでも大人気です。いちじくや柑橘類やピワや苺を使ってスフレケーキや羊羹なども缶詰化できたら、需要があると思いますし、ふるさと納税の返礼品にもびったりだと思います。	産業振興課	基本施策2-1のニーズ番号7と同様
7	学校の防災は念入りに。	学校教育課	学校では、年間避難訓練計画を立て、定期的に「地震・津波」「火災」「風水害」の避難訓練を行っており、万が一の避難に備えています。また、防災学習として、外部の講師の方を招き、講演等を実施し、防災意識を高める機会を設けています。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-2	つながりを活かした交通安全と防犯			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	高齢者の交通安全教室開催を。道路の真ん中を歩いたり、ふらふら走ったり危険です。誤って轢いた側も悲惨です。	防災危機管理室	交通安全推進費	高齢者交通安全教室を年1回開催しています。その他、交通安全キャンペーンの実施や運転免許証自主返納支援事業など、交通安全対策を継続して実施していきます。
2	空き巣が多いので、町内に防犯カメラ多数設置のお願いを。	防災危機管理室	防犯対策費	町管理の防犯カメラは6箇所10台あり、現状を維持していく方針です。また、防犯カメラ設置に対する補助制度を地域団体向け及び個人向けに実施しています。その他、防犯パトロールや鍵かけ徹底などの啓発を継続して実施していきます。
3	漁業、農業者へ盗難防止のため防犯カメラ安価なダミーでいいので補助。開バ道路での自転車は何度も危険な場面を見ているためサイクリング禁止必須。	防災危機管理室	防犯対策費 交通安全推進費	防犯カメラ設置に対する補助制度を、地域団体向け及び個人向けに実施しています。事業者向けの補助制度の必要性等を検討していきます。 開バ道路でのサイクリングについては、自動車も自転車もお互いが交通安全に注意し、スピードを出し過ぎないなどの思いやり運転に心がけることが肝要であるため、交通安全の啓発を推進していきます。
4	まずは車の通行量も少なくなって来てるので早く自動運転車を解禁させる取り組みが必要かと思います。	成長戦略室		現在、観光客等の交通量が一定程度ありますので、公道での走行についてはまだ先になると踏んでおります。今後の自動運転等に関する情報収集を行っていきます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-3	資源を活かす土地利用		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	今親が持っている3階建ての空き家にも耐震補強の補助金が出せるようにしてもらえたらありがたい。他所からの漁師希望者のために賃貸にしたいと考えているため。	成長戦略室	空家等対策事業費 移住定住施策として空き家バンクを利用し、賃貸物件として10年以上空き家バンクに登録する空き家につきましては、賃貸借契約を締結した空き家の所有者等又は賃借者に対し、上限30万円(対象経費の3分の2以内)の補助制度を実施しておりますので、こちらの利用につきましてご検討いただけますようお願いいたします。
2	持ち主不明が確認できた廃屋や土地は整えて公共施設設置や売却ができるのと良いのですが。	成長戦略室	空家等対策事業費 持ち主(法人を除く)が不明であることが確認できた空き家や空き地につきましては、財産管理制度により不在者財産管理人又は相続財産管理人を家庭裁判所が選任することで処分することは可能です。しかし、財産の処分に関する費用については、申請をする利害関係者が予納金としてあらかじめ負担せねばならず、財産管理人が財産を売却することができないこともあるなど、費用回収が課題となっております。こちらの制度の活用につきましても引き続き事例を収集しつつ、空き家・空き地問題の解決に活用できるか検討してまいります。
3	町外から働きたくてくる人も住む所をいつも困ってます。町外からの人も住みやすく貸家物件をもっと増やして移住を促すことも大事だと思います。	産業振興課 成長戦略室	空家等対策事業費 移住定住施策として空き家バンクを実施しておりますが、所有者から物件登録の依頼があるものは、老朽化した活用できないものが多いのが現状です。また、活用できるものにつきましても、売却を希望する所有者が多くなっており、引き続き、空き家の所有者に対し、活用について周知啓発をしつつ、賃貸物件としての空き家の活用事例など情報を収集してまいります。
4	公園や空き家後の活用(南知多町公共施設等総合管理計画パブリックコメントで提案)	成長戦略室 建設課	空家等対策事業費 公園維持管理費 公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、公園については、定期的な点検・診断を中心として、適切な維持管理を行うとともに公園の遊具の更新、廃止についての検討も行います。 現状において空き家を除却した後の跡地の管理が問題となっております。特に管理不全な状態になる空き家の多くは狭小地や未接道など活用しづらい立地状況が多く、除却後に跡地を売却できず草刈等の管理が所有者の負担となっております。 それらを行政が公共地として管理した場合、固定資産税の取得ができず、また、草刈等の維持管理を公費で賄うことになってしまいますので、他の公共サービスの低下につながる恐れがあります。 そのため、御指摘のとおり地域への払い下げや管理方法の公募など、地域住民や民間事業者による活用につきましても模索してまいります。 南知多町の都市公園の多くは、地域住民が利用することが目的となっている街区公園で適切に活用が図られていると考えています。その他の公園についても設置目的に沿った活用方法があれば検討します。
5	今後10年で空き家は確実に急増していくと思う。無償でも引き取り手のない土地、家屋も多く有り、解体費用も高額である。空き家になったら放置しない、放置したリスクを伝える必要がある。	成長戦略室	空家等対策事業費 現在、固定資産税の納税通知書に空き家対策に関するチラシを同封するなど、空き家を放置した場合のリスクにつきまして周知啓発を実施しております。また、建物を取得するということは最終的に解体撤去まで見越した資産運用が必要となりますので、空き家を放置するリスクだけでなく、建物を所有する際に必要な費用についても周知啓発をしてまいります。
6	空き家の持ち主は、きちんと納税しているのだろうか？そもそも持ち主の居場所はわかっているのだろうか？持ち主のわからない土地や建物が、町の資産(プラス)になる対策ができると良いと思います。	税務課 成長戦略室	空家等対策事業費 持ち主(法人を除く)が不明であることが確認できた空き家や空き地につきましては、財産管理制度により不在者財産管理人又は相続財産管理人を家庭裁判所が選任しなければ売却など処分することはできず、また、その手続きに必要な費用もあらかじめ負担せねばなりません。現状では売却の可能性がない物件に対し、財産管理制度を活用することは、町にとってマイナスでしかありませんので、全国的事例を収集しつつ対策を検討してまいります。
7	空き家になる前からの対策が必要と思う。	成長戦略室	空家等対策事業費 建物を取得するということは最終的に解体撤去まで見越した資産運用が必要となりますので、空き家を放置するリスクだけでなく、建物を所有する際に必要な費用についても周知啓発をしてまいります。また、土地と建物を処分する際に、相続登記も必要ですので、こちらにつきましても法務局と連携しながら引き続き周知啓発を実施してまいります。

8	町内会、祭り、消防などが意外にも大きな原因だと思います。要改善。	企画財政課		地元区が自ら実施していることについては町ができることは少ないです。消防については、人口減少も踏まえ、活動や人員の見直しを進めています。
9	何をするにしても、町を出ないと解決できないから、人口流失はしかたない。買い物、塾、警察署、駅等すべてが不便すぎるから、無理だと思う。	企画財政課		本町においてもできること、できないことは多数あり、行政だけでは解決できない課題も多数あります。その中で、行政と町民のみならずの協働により、南知多町が魅力的な町となるような政策の検討・実施をしていきます。
10	固定資産の維持がとても負担です。	成長戦略室	空家等対策事業費	土地や建物といった固定資産は、賃貸収益を得るなど資産として活用しなければ維持管理費の負担が増すばかりです。現在の所有者が利活用する見込みがない空き家や空き地につきましては、空き家バンクなどによって価値が下がる前に売却するなど、早期に処分することにつきまして引き続き周知啓発を実施してまいります。
11	いくら人の流出が多いからと言って、人の人生を矯正してはいけません。住んでもらうのではなく住みたくなる。のが正しい流れ。	企画財政課		総合計画のフレーズにもある通り、選ばれる理由があるまちを目指します。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-4	安心な暮らしを支えるインフラ		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	町の予算では到底足りませんね。国や県に働きかけて大きな所から整えて下さい。見た目は大事です。	企画財政課	国や県への要望は引き続き行い、活用できる補助メニューはしっかり検討していきます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-5	暮らしを支える地域公共交通		
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業	対応・現状
1	通学時間帯のバスを増やすか少しだけ早めてもらえるかと阿久比高校へ通う人もバスで通えるのに、と言う話を聞きました。通勤通学の時間のバスの時間を少し融通していただけたらと思います。	成長戦略室	公共交通対策事業費 令和5年10月1日から路線再編を実施します。限られた条件の中で電車との乗継を考慮してダイヤを組みました。今後も継続して意見を聞きながら、随時見直しを実施していきます。
2	海っ子バスの支払いに一般的な電子マネーの導入を。	成長戦略室	公共交通対策事業費 電子マネーの導入に向けて、費用対効果等を踏まえて前向きに検討していきます。
3	新中学校。人口の多い内海の子供たちをわざわざ豊浜までスクールバスで送迎するのは収支で結果的に無駄なのでは？	学校教育課	令和10年度までに旧豊浜中学校の用地へ南知多中学校の新校舎を建設する予定であります。移転後の内海地区生徒の送迎については、スクールバスや海っ子バスを活用し安全な送迎に努めます。収支については、明確な比較は差し控えますが、今後の生徒数の推移を把握しながら、効率のよいバス運行事業を行っていきます。
4	娘が高校の通学で河和駅までバスを利用しています。電車との連結が悪くて、駅で1時間以上待つことも結構あるようです。せめて待ち時間を30～45分位までに改善してくれるとありがたいです。この状況だと子供が高校に進学するタイミングで南知多町から出て行ってしまう家庭も増えていくのではないかと思います。改善する見込みがないなら我が家もこれからを考えてしまいます。	成長戦略室	公共交通対策事業費 現在、海っ子バスは1時間に1本を基本としており、これ以上の増便は財政負担を考慮すると難しい状況にあります。また、河和駅へは1時間に4本程度の電車が発着していることから、電車によって約10分から1時間の待ち時間が発生します。バスのダイヤは可能な範囲で改善はできませんが、本数の増便は難しいものと考えます。
5	移動手段といえば車ですが知多半島道路は生活道路なので町民は無料ではなくてはなりません。これも流出の大きな原因です。	企画財政課	道路コンセッションに通行料の値下げを要望しています。
6	地域バスは小型にして本数を増やして。	成長戦略室	公共交通対策事業費 中型と小型バスの燃費の差は約1km/ℓほどです。本数を増やすためには、バスと運転手の増が必要であり、より多くの財政負担が発生してしまうため、現時点では考えておりません。
7	地方の交通手段や高齢ドライバー対策はカーシェアリングや自動運転車が有効だと思います。その時期になったら即座に対応することが良いかと思います。	成長戦略室	これまで、南知多町日間賀島において、平成28年度には「自動走行実証実験」、令和2年度には「グリーンズローモビリティ」の実証運行を尾心菜いしました。また、令和3年度には豊浜・師崎地区限定で「チョイスコみなみち」の実証実験も行い、様々な可能性を模索しております。
8	運転免許返上の時の為、うみっこバス体験をしたいと思う。海っ子バス住民説明会などに参加し、住民の使いやすい海っ子バスを創っていきたい。	成長戦略室	公共交通対策事業費 毎年タウンミーティングを実施しておりますので、ぜひご参加ください。
9	海っ子バスの充実を願う。	成長戦略室	公共交通対策事業費 毎年タウンミーティングを実施し、利便性、持続性を考慮した海っ子バスにしていきたいと思えます。
10	路線バス(海っ子)の充実。バス停の安全性の確保、停留所の椅子や雨除け。夏場の海水浴客の利便性の確保、混雑時期の駅での臨時案内(パートかボランティアなど)。バス停の変更、安全上も極めて危険な個所に有るものの変更。特に、豊浜一内海間の西海岸線、防波堤そばの停留場の変更。(退避難場所がない)	成長戦略室	公共交通対策事業費 地域のまちづくり協議会の協力等により、バス停によってはベンチ等の設置がされております。その他、できることを可能な範囲で検討していきます。
11	交通の不便差が元々あるにも関わらず、最近また更に名鉄の会社の理由により廃止やら縮小やら、天候でもすぐに船を欠航にされてしまう。島民にとっては船は生活の一部であり、無くてはならないもの！船料金の割引も何故1人何枚と決められてるのか？島民の船割引は切符を購入の際に割引をして頂きたい。割引配布の際、取りに行く行かない、貰っても使用しない不平等がでる。なので、購入の際に割引の形に頂きたい。	成長戦略室	離島振興費 島民に対する船の補助券については、今年度、大人20枚、小人18と各4枚増して、島に住所のある方に一律でお配りしております。愛知県と共同で行っている事業です。今後県と協議をして増額を求めていきます。
12	通学バスのバス内放置や、学童の送りで児童が1人になるとき等(1人しか学童へ行かない時など、女の子だと心配)、安心して任せられる運転手なのか心配。	学校教育課 健康子育て室	スクールバスや学童の送迎については、降車後安全点検を徹底するなど、利用する子どもたちの安全を確保します。
13	海っ子バスが不便になるのでさらに利用しづらくなると思う。バスを利用している学生が不便さから利用しなくなると自家用車の送迎が増え、家庭への負担となる。朝晩の送迎での時間負担は大きく、住みやすさ、働きやすさ、子育てのしやすさに直結すると思う。	成長戦略室	公共交通対策事業費 令和5年10月1日から路線再編では、便利になる方もいれば不便になる方もいることは承知しております。その中で、海っ子バスの利便性維持、持続性確保を目的に実施します。家計の負担軽減の一助として、学生及び小中学生が無料で海っ子バスに乗ることができる制度を創設しましたので、ぜひご活用ください。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-6	多様性を認め、共に支え合うコミュニティ			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	自助共助に頼りすぎていて、人口減の中、区長に取りまとめをお願いするのは大きな負担。助け合うことすらままならないコミュニティの崩壊。定期的に巡回する組織を整備して欲しい。	総務課	自治振興費	定期的に巡回する組織は地区の住民組織なのか役場内部での組織なのか分かりませんので回答を控えさせていただきます。
2	助け合いはこれから増々重要になってくると感じますが、地域活動がうざく流出する人も多いのは事実なのでそんなやつは知らんでは解決しないと思います。	総務課 成長戦略室	まちづくり推進事業費 自治振興費	各地区でさまざまな地域活動が行われておりますが、自身の地域を盛り上げるために実施されているものがほとんどだと思っております。地域活動の意義、必要性にご理解いただければ幸いです。
3	町づくり推進事業では、最近豊浜の桜公園が整備され、マスコミなどにも報道され観光客が多数来場(町)した。予算などは不明だが、道路からの案内板や施設の整備など、他の公園も町全体での取り組みが推進されれば、活性化が期待できる。またこの間、公共施設の再配置計画が進められているが、つづす前に将来計画を示し、それに近づけていくための再配置として住民の意見を求めていく計画が必要と考える。	成長戦略室 建設課 企画財政課		地域のまちづくり協議会へ補助金を出し、地域に適した事業を実施いただいております。今後もまちづくり協議会と連携して地域活性化の支援をしていきたいと考えています。都市公園及び一般公園への予算では、管理委託料、消耗品、修繕料、樹木管理手数料等があり、それぞれの公園に配分するものではありません。また、桜公園のように、建設課管理外の公園においては、まちづくり協議会を始めとする地元有志の方々のお陰で、綺麗に整備されています。再配置計画では、住民アンケート、ヒアリング、討議会、説明会など意見を求め、案をお示していきます。

令和5年度 町民意識調査 ニーズ等への対応・現状について

基本施策 3-7	心と体安らぐ自然・住環境			
ニーズ番号	町民意識調査によるニーズ等自由記述	関連する所管課・予算事業		対応・現状
1	せっかくの豊かな自然をもっと感じる場所、景観など環境整備ができると思う。勤労世帯にはいつでも出せるステーション必要。カメラ付きならわやしない。	建設課 環境課		現在策定中の景観計画(R5年度完成)において、素晴らしい景観を守るため、眺望点を検討しています。 また、地域の方々からの意見をいただくため、ワークショップを開催します。 現在、師崎地区および豊浜地区については、資源物(ペットボトル・缶・古紙)の常時回収を行うエコステーションを設置しております。 なお、可燃ごみ・ミックスペーパー・プラスチック製容器包装のごみ集積所は地域(区)の皆様の協力を得ながら管理をしているところですが、常時回収となると、管理負担の増大と環境衛生の悪化を招く恐れがあるため、住民の皆様には回収日時に合わせたごみ出しをお願いしています。
2	R247のウバメガシを切って。	建設課		繁茂した樹木が国道に支障がある場合は、管理者である愛知県に連絡し対処を依頼します。
3	太陽光をめぐる乱開発など、住環境の破壊が急速に進んでいる。太陽光関係の条例化に続き、「(仮)南知多町景観計画」の策定(条例化)が予定されている。極めて重要な条例ですので、町民の意見を広く求め、検討を進めてください。	建設課		地域の方々からの意見をいただきため、ワークショップを開催します。
4	南知多道路は草が生い茂ってて、危ないし見づらい。雑草などがあれば虫なども増えるが、環境にいいものとそうでない虫もいる為、清潔に保てないならば伐採して整えて頂きたい。電灯などもLEDに変え、暗い箇所などあったらつけて頂きたい。	防災危機管理	交通安全施設維持管理費	町道に関しては、予算にて草刈りを実施しています。町内に設置されている街灯については、町や県で管轄が分かれております。危険な場所等に設置される街灯(防犯灯)については、LED化をすすめております。また、防犯灯の設置については、各区より要望をいただいております。優先順位をつけて設置等を行っています。